

Accession	Mur	Author	Title	Journal	Volume	Issue	Pages	Year	Label	Publisher	Series	Editor	Notes
		杉本寿、横田順一朗、高橋道知、杉本侃	プロパンガス中毒	救急医学	3	10	1123-1126	1979	482				和文原著
		澤田裕介、高橋道知、小林久、横田順一朗、大橋教良、吉岡敏治	重傷頭部外傷の治療成績	救急医学	3	12	1605-1611	1979	492				和文原著
		澤田裕介、高橋道知、大橋教良、横田順一朗、小林久、吉岡敏治	急性一酸化炭素中毒に対する高圧酸素療法の限界	救急医学	4	2	215-223	1980	497				和文原著
		高橋道知、小林久、横田順一朗、澤田裕介、大橋教良、杉本侃	非定型的破傷風症例の検討—とくに鑑別診断を中心に—	外科治療	45	4	468-471	1981	554				和文原著
		横田順一朗、杉本侃	電撃症	臨床と研究 別冊	56	8	100(2498)-107(2520)	1979	473				和文原著
		横田順一朗、大橋教良、難波孝太郎、吉岡敏治、杉本侃	広範囲熱傷患者における silver sulfadiazine による白血球減少症	熱傷	5	2	127-132	1980	505				和文原著
		横田順一朗、杉本侃	腹腔内損傷を伴う多発外傷	手術	37	4	411-418	1983	624				和文原著
		横田順一朗、杉本侃	大量吐血時における出血部確定法とその対策	外科診療	25	8	1~8	1983	640				和文原著
		横田順一朗	特発性食道破裂-Boerhaave's syndrome-	救急医学	7	9	1117-1123	1983	645				和文原著
		吉岡敏治、寺井親則、上西正明、横田順一朗、大橋教良、杉本寿、杉本侃	MOFの治療	救急医学	7	10	289-296	1983	650				和文原著
		橋本公昭、横田順一朗、大橋教良、杉本寿、吉岡敏治	熱傷の分類と診断	医学と薬学	10	6	1805-1811	1983	657				和文原著
		渋谷正徳、山上威、横田順一朗、澤田裕介、吉岡敏治、杉本侃	肝の traumatic cyst	救急医学	8	5	585-591	1984	680				和文原著
		杉本寿、寺井親則、上西正明、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	骨盤骨折における止血法	救急医学	8	10	1547-1555	1984	705				和文原著
		横田順一朗、杉本侃	肝癌の破裂—自験12症例の検討を中心に—	救急医学	8	11	1625-1681	1984	714				和文原著
		横田順一朗、嶋津岳士、上西正明、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	頭部外傷における高張Na輸液の生理学的作用の検討—とくに陰イオンの検討を中心として—	日本災害外科学会雑誌	32	12	855-863	1984	716				和文原著
		吉岡敏治、池邨勝美、横田順一朗、上西正明、橋本公昭、渋谷正徳、塩野茂、杉本侃	ダイアライザー由来のリムルステスト陽性物質について	外科治療	52	1	110-111	1985	721				和文原著
		横田順一朗	急性腎不全	救急医学	8	12	1757-1762	1984	722				和文原著
		大橋教良、杉本寿、澤田裕介、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	外傷後のT細胞subsetsの変動について	臨床免疫	16	12	1757-1762	1984	723				和文原著
		横田順一朗、杉本侃	特殊病態下の術後管理：外傷	外科治療	52	6	950-953	1985	748				和文原著
		横田順一朗、上西正明、阪本敏久、行岡哲男、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	広範囲熱傷患者における高張Na輸液の陰イオン組成に関する研究	日本外科学会雑誌	86	11	1492-1499	1985	760				和文原著
		横田順一朗、杉本侃	他部位損傷を伴う腹部外傷の治療	消化器外科	8	12	1721-1730	1985	761				和文原著
		吉岡敏治、橋本公昭、渋谷正徳、上西正明、行岡哲男、阪本敏久、横田順一朗、杉本侃	CVP, Swan-Ganzカテーテル挿入後	救急医学	9	12	1705-1712	1985	766				和文原著
		横田順一朗、宮加谷靖介、渋谷正徳、橋本公昭、吉岡敏治、杉本侃	他臓器障害を呈した急性覚醒剤中毒の1治療例	救急医学	10	2	229-233	1986	771				和文原著
		池邨勝美、塩野茂、横田順一朗、阪本敏久、上西正明、橋本公昭、渋谷正徳、吉岡敏治、杉本侃	透析膜に由来するリムルステスト陽性物質について	臨床病理	34	3	313-318	1986	776				和文原著
		横田順一朗、渋谷正徳、橋本公昭、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	肝損傷の画像診断	救急医学	10	6	685-697	1986	784				和文原著
		曾根 修輔、酒井文和、横田順一朗	肺疾患II. 外因	放射線医学体系	9		221-266	1986	794				著書
		池上敬一、渋谷正徳、阪本敏久、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	小児の多発外傷—初期治療を中心に—	小児科	27	8	1035-1040	1986	797				和文原著
		横田順一朗、阪本敏久、上西正明、渋谷正徳、橋本公昭、吉岡敏治、杉本侃	外傷早期における腎機能の臨床的研究— $\gamma$ 2-microglobulinおよびN-acetyl- $\gamma$ -D-glucosaminidaseの検討を中心に—	日本外科学会雑誌	87	11	1391-1397	1986	803				和文原著
		田畑孝、清谷哲朗、渋谷正徳、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	急性硫酸銅中毒	月刊薬事	28	12	154-158	1986	807				和文原著
		渋谷正徳、池上敬一、坂野勉、横田順一朗、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	破傷風におけるautonomic overactivity 実験モデルの作成	日本外科学会雑誌	88	1	14-19	1986	812				和文原著
		渋谷正徳、横田順一朗、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	交通外傷—死因からみた初期治療のあり方—	外科診療	29	1	62-68	1987	814				和文原著
		平出敦、八木啓一、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	重傷顔面外傷にともなう大量の出血の処置について—外傷による外頸動脈領域の出血に対する経カテーテル塞栓術の試み	日本災害医学会誌	35	1	24-28	1986	817				和文原著
		阪本敏久、木下順弘、横田順一朗、上西正明、渋谷正徳、池上敬一、吉岡敏治、杉本侃	重傷頭部外傷に対する高張Na液の作用	神経外傷	9		173-179	1986	818				和文原著
		H. Sugimoto, M. Shibuya, J. Yokota, C. Terai, T. Shimazu, T. Megawa, T. Yoshioka, and T. Sugimoto	Long-term continuous spinal anesthesia in severe tetanus with autonomic disturbance	Klin Wochenschr	65		238-243	1987	820				欧文原著
		横田順一朗、坂野勉、渋谷正徳、木下順弘、阪本敏久、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	高張Na輸液の陰イオンの検討	JJPEN	9	2	157-160	1987	823				和文原著
		吉岡敏治、池上敬一、上西正明、横田順一朗、杉本寿、杉本侃	重傷胸部外傷の病態	救急医学	11	5	533-539	1987	825				和文原著
		池邨勝美、池上敬一、杉本寿、横田順一朗、渋谷正徳、吉岡敏治、杉本侃	合成基質法リムルステストとエンドトキシン特異的テストを用いた深在性カンジダ症の診断と治療効果の判定	外科治療	57	1	100-105	1987	835				和文原著
		川上正人、横田順一朗、杉本侃	重度外傷患者に合併した播種性カンジダ症の1治療例	救急医学	11	8	1033-1036	1987	837				和文原著
		A. Iwai, T. Sakamoto, Y. Kinoshita, J. Yokota, T. Yoshioka, and T. Sugimoto	Computed tomographic imaging of the brain in after hypoglycemia coma	Neuroradiology	29		398-400	1987	838				欧文原著
		坂野勉、上西正明、杉本寿、木下順弘、渋谷正徳、阪本敏久、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	脳死状態における視床下部—下垂体機能に関する研究	救急医学	11	9	1161-1167	1987	839				和文原著

坂野勉、木下順弘、渋谷正徳、上西正明、阪本敏久、横田順一朗、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	脳死状態における循環動態とその管理法	外科治療	58	1 88-95	1988	860			和文原著
横田順一朗、川上正人、岩井敦志、田中裕、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	重度骨盤骨折に対する経カテーテル的塞栓術の治療成績	日本外科学会雑誌	89	5 757-762	1988	869			和文原著
木下順弘、岩井敦志、阪本敏久、横田順一朗、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	外傷性subclavian steal syndromeの1例	日本外科学会雑誌	89	6 967-970	1988	872			和文原著
澄川耕二、横田順一朗	カルチノイド症候群と麻酔	麻酔	27	3 288-292	1978				和文原著
Junichiro Yokota, Minei, J. P., Fantini, G. A., and Shires, G. T.	Role of leukocytes in reperfusion injury of skeletal muscle after partial ischemia.	American Journal of Physiology	257	H1068-H1075	1989	931			欧文原著
杉本寿、上西正明、田畑孝、岡本健、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	外傷患者の重傷度	救急医学	13	12 1785-1791	1989	937			和文原著
横田順一朗	臓器障害とフリーラジカル	救急医学	14	2 189-197	1990	955			総説
Junichiro Yokota, Jerry J. C. Chiao, G. Tom Shires	Oxygen free radicals affect cardiac and skeletal cell membrane potential during hemorrhagic shock in rats	American Journal of Physiology	262	H84-H90	1992	1059			欧文原著
横田順一朗、杉本侃	児童虐待	小児科臨床	44	349-357	1991	1014			和文原著
横田順一朗、山村仁、鴻野公伸、松岡哲也、岸川政信、杉本侃	鈍的胸部外傷による緊張性心嚢気腫	日本救急医学会雑誌	1	3 166-170	1990	1000			和文原著
横田順一朗	意識障害—改めて理学所見を見直す—	救急医学	14	9 1132-1133	1990	987			和文原著
岡本健、横田順一朗、杉本寿、吉岡敏治、杉本侃	受傷機転からみた重度交通外傷の損傷形態と死因の解析	日本救急医学会雑誌	2	3 644-651	1991	1015			和文原著
横田順一朗、杉本侃	ショックの蘇生法の基本は？	臨床医のためのハンドブックショックQ & A		20-21	1991				著書
吉岡敏治、上西正明、横田順一朗	HLSにおける輸液管理	救急医学	15	9 1016-1018	1991	1033			和文原著
横田順一朗	肝外傷の治療—拡大術式の反省—肝切除の回避とperi-hepatic packing の再評価	医学のあゆみ	159	4 211-214	1991	1035			和文原著
横田順一朗	虚血・再灌流と活性酸素—筋細胞静膜電位の障害と白血球の関与について	虚血と臓器障害—虚血によって何がおこるか—		111-120	1991	1047			著書
H. Tanaka, H. Ogura, J. Yokota, H. Sugimoto, T. Yoshioka, T. Sugimoto	Acceleration of superoxide production from leukocytes in trauma patients	Ann Surg	214	2 187-192	1991	1036			欧文原著
吉岡敏治、松岡哲也、鎌方安行、平出敦、王子佳宣、横田順一朗、杉本寿、杉本侃	広範囲熱傷の治療計画—生命予後に及ぼす諸因子の検討—	日本熱傷学会誌	17	5 219-226	1991	1045			和文原著
松本亨、岡本健、鴻野公伸、横田順一朗、杉本侃	頸椎損傷後脳幹梗塞を併発した1例	日本救急医学会雑誌	2	6 944-948	1991	1054			和文原著
横田順一朗、杉本侃	好中球エラスターゼの病態へのかかわり—多臓器不全—	好中球エラスターゼ—病態と治療への新しい手がかり—		115-125	1992	1064			著書
平出敦、横田順一朗、杉本寿、杉本侃	骨盤骨折—最新の損断—治療—	外科治療	35	2 183-190	1993	1091			和文原著
横田順一朗	Vital sign の見方	外科 MOOK	38	82-91	1984				著書
石田詔治、辻野安彦、北村征治、奥村福一郎、横田順一朗、河井秀夫	全身麻酔中に発生した高血圧に対するDiazoxide (Hperstat) の効果判定	救急医学	2	5 569-572	1978				和文原著
横田順一朗、溝端康光、三谷平弘、松岡哲也、杉本侃	損傷形態、合併症からみた肝損傷の手術術式の検討	日本外科学会雑誌	94	6 604-610	1993	1103			和文原著
吉田裕彦、田中礼一郎、岩井敦志、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	外傷性内径動脈—海面静脈瘻の反対側に頭蓋内出血を合併した—症例	日本外傷研究会誌	7	3 253-257	1993	1114			和文原著
横田順一朗	腹部外傷の画像診断—dynamic CT検査	外科治療	70	2 180-185	1994	1134			和文原著
吉田裕彦、藤井紀男、岩井敦志、島津岳士、横田順一朗、吉岡敏治、杉本侃	長期循環管理を行った脳死症例の血液像と造血能との検討	日本救急医学会誌	5	1 26-31	1994	1137			和文原著
横田順一朗	重症患者のモニタリング—体液・電解質・血清Na濃度	臨床モニター	5	1 49-57	1994	1142			和文原著
横田順一朗	腹部触診と聴打診をとおしてのメッセージ	救急医学	18	547-550	1994	1146			和文原著
横田順一朗	vital signs—救急診療に必要な指標と数値算法	救急医学	18	4 395-396	1994				和文原著
Junichiro Yokota, Tsuyoshi Sugimoto	Clinical significance of periportal tracking on computed tomographic scan in patients with blunt liver trauma	The American Journal of Surgery	168	247-250	1994	1161			欧文原著
横田順一朗	肝損傷	図解外傷治療ガイド		192-299	1994		文光堂、東京	杉本侃	著書
横田順一朗	麻薬・覚醒剤中毒—救急計画法—	総合臨床	42増刊	735-741	1993				和文原著
Tetsuya Takakuwa, Junichiro Yokota, Tsuyoshi Sugimoto	Liver infarction produced by dual vessels occlusion due to trauma and TAE: Long follow up using CT, US, and MRI	Medical Journal of Osaka University	42, 42	##### 23-27	1993				欧文原著
横田順一朗	急性腎不全	救急治療の手引き		改訂4版 139-142	1987		永井書店、大阪	杉本侃編	著書
横田順一朗	骨盤骨折と尿路損傷	救急治療の手引き		改訂4版 247-253	1987		永井書店、大阪	杉本侃編	著書
横田順一朗	肝損傷	今日の治療指針		26-27	1993		医学書院、東京	阿部正和監修	著書
横田順一朗	麻薬・覚醒剤中毒	今日の神経疾患治療指針		669-670	1994		医学書院、東京	亀山正邦、高倉公朋総編集	著書
横田順一朗	”ガス産生感染症”など	最新医学大辞典			1978		医歯薬出版、東京	後藤稔編集代表	著書
横田順一朗	覚醒剤急性中毒	今日の治療指針			1986		医学書院、東京		著書
横田順一朗	覚醒剤急性中毒	今日の治療指針			1990		医学書院、東京		著書
横田順一朗	意識障害	Modern Physician	13	5 598-599	1993		新興医学出版		和文原著
横田順一朗	熱傷の局所治療	今日の治療指針			1998		医学書院		著書

	横田順一郎	頭蓋内圧降下法	今日の治療指針		70	1998		医学書院	著書
	横田順一郎	一般外傷	救急救命士標準テキスト改訂4版		418-450	1998	へるす出版、東京		成書
	横田順一郎	肝損傷	今日の治療指針		30-31	1999		医学書院	
1	横田順一郎	救急医療における画像診断の特殊性—検査の優先順位の選択	Innervision	9	10 8~1 2	1994			和文原著
2	横田順一郎	Acute strokeと臓器障害—病態生理と患者管理—肝障害	救急医学	18	11 1567-1571	1994			和文原著
3	横田順一郎	MOF	救急認定医のための診療指針		243-249	1994	へるす出版、東京	日本救急医学会監修	著書
4	横田順一郎、杉本侃	救命救急処置	臨床外科学1 外科学総論	1	373-388	1994	朝倉書店	森岡恭彦、川島康生、森昌造、水戸迪郎	著書
5	横田順一郎	低血糖昏睡	治療	77	2 149-153	1995			和文原著
6	横田順一郎	腹部外傷の診断と治療：エディトリアル	救急医学	19	7 745-746	1995		編集	巻頭言
7	岸川政信、横田順一郎	肝外傷後にみられる合併症とその取り扱い	救急医学	19	7 809-803	1996			著書
8	横田順一郎	骨盤骨折の治療：手術療法かTAEか	救急医学	19	9 1045-1048	1995			和文原著
9	横田順一郎	緊急室開胸セット	救急医学	19	10 1201-1206	1995			和文原著
10	横田順一郎	ヘリコプター搬送と情報伝達	ドキュメント救急医療の試練：阪神・淡路大震災		134-139	1995	メディカ出版、大阪府吹田市	ドキュメント救急医療の試練：阪神・淡路大震災、日本救急医学会災害医療検討委員会編集	和文原著
11	横田順一郎	アメニティを重視した新しい救急医療施設	Emergency Nursing	8	10 34-40	1995			和文原著
12	横田順一郎	大阪府立泉州救命救急センターの経験	救急医学	19	12 1697-1702	1995			
13	横田順一郎	クラッシュシンドローム対応の諸問題	救急医学	19	12 1764-1774	1995			著書
14	藤田毅、横田順一郎	救急救命士の普及と内容はこれでよいのか？	総合臨床	45	4 649-651	1996			著書
15	横田順一郎	Crush syndrome	日本外傷学会	10	2 71-80	1996			総説
16	荻野隆光、小濱啓次、金子正光、谷口繁、葛西猛、辺見弘、澤田裕介、野口宏、横田順一郎、加来信雄	交通事故における救急ヘリコプターシュミレーション	交通化学研究資料	37	100-102	1996			著書
17	横田順一郎、大松正宏、堀川浩司	生体情報の記録と管理—看護力の向上と迅速な病態解析を目的に—	救急医学	20	8 891-898	1996			和文原著
18	小池麟一郎、市場洋三、大北昭、堺宣道、城宏輔、竹田美文、樋上忍、松浦基夫、横田順一郎	病原性大腸菌O-157感染症にどう対応するか	日本医師会雑誌	116	6 711-731	1996	東京		対談
19	横田順一郎	挫滅症候群の初期治療	別冊・医学のあゆみ		30-34	1996	東京、医歯薬出版株式会社	相川直樹	著書
20	横田順一郎	21世紀に向けての外科—救命救急の外科—	外科診療	38	12 1383-1386	1996			著書
21	横田順一郎	十二指腸損傷	今日の治療指針		33-32	1997	東京、医学書院	日野原重明、阿部正和	著書
22	吉田裕彦、横田順一郎	蘇生による脳再灌流障害	LiSA	4	1 30-34	1997			和文原著
23	横田順一郎	挫滅症候群	日本救急医学会雑誌	8	1 1~1 6	1997			総説
24	横田順一郎	慣れてもなお覚え	Emergency nursing	10	3	1997			巻頭言
25	横田順一郎	挫滅症候群	カレントセラピー	15	4 660-119	1997			和文原著
26	横田順一郎、吉田裕彦	Xe-CTを救急医療で活用する	先端医療	13	4	1996			対談
27	横田順一郎	挫滅症候群	救急医学	21	6 734-735	1997			和文原著
28	平野俊一郎、中島義和、安部倉信、谷脇浩一、横田順一郎、越野兼太郎、早川徹	重度頭部外傷患者の早期意識予後判定	神経外傷	19	122-127	1996			和文原著
29	裏岡富次、横田順一郎、岸川政信、大松正宏、八木啓一	胸骨柄体離開を伴うflail chestに対するリコンストラクションプレート固定による治療経験	日本災害医学会雑誌	45	4 257-260	1997			和文原著
30	横田順一郎	大腸損傷の手術	救急医学	21	7 800-811	1997			和文原著
31	大松正宏、横田順一郎、堀川浩司、瀬戸島さち江、牧野恵子	コンピューターネットワークによる生体情報の総括的管理	ICUとCCU	21	8 719-725	1997			和文原著
32	横田順一郎	腹部外傷	外科治療	77	3 338-348	1997			和文原著
33	横田順一郎	外傷性肝損傷の診断と治療	外科治療	77	4 409-417	1997			和文原著
34	横田順一郎	肝外傷—CT編	救急医学	21	10 1218-1237	1997			和文原著
35	大松正宏、横田順一郎	導尿カテーテル	エマージェンシー・ナーシング		150-156	1998			和文原著
36	大松正宏、堀川浩司、横田順一郎	コンピューターネットワークによる生体情報の管理	医療とコンピューター	9	3 116-122	1998			
37	八木啓一	ARDSの輸液管理	医学のあゆみ	183	9 697-700	1997			
38	福田篤久、栖原美幸	—基礎から学ぶ呼吸管理—3 血液ガス分析	エマージェンシー・ナーシング	9	3 57-63	1996			
39	福田篤久、久保田芽里、小島義忠、石田浩美	ドクターズカーにおけるラップトップ型血液ガス分析装置”OPTI-1”の使用経験	医科器械学	67	3 123-126	1997			
40	久保田芽里、石田浩美、小島義忠、福田篤久	プレホスピタルケアにおけるラップトップ型血液ガス分析装置の有用性	日本臨床検査自動化学会会誌	22	5 714-719				
41	小島義忠、久保田芽里、石田浩美、福田篤久	緊急検査の迅速化に向けての検討	第10回サンプリング研究会講演記録集		87-91	1996			
42	福田篤久、小島義忠、久保田芽里、石田浩美	動脈ライン採血の凝固検査に及ぼす影響	エマージェンシー・ナーシング	11	4 114-119	1998			
43	横田順一郎	筋膜切開	救急医学	22	4 460-461	1998			和文原著
44	丸田栄一、清水由紀枝、松井希代子	薬局における医薬品と診療材料の一元管理システムの利用	病院薬学	24	2 192-200	1998			

45	Yoshikazu Nakajima, Toshiki Yoshimine, Hiroyoshi Yoshida, Keiji Sakashita, Mitsutoyo Okamoto, Masanobu Kishikawa, Keiichi Yagi, Junichiro Yokota, Toru Hayakawa	Computerized tomography angiography of ruptured cerebral aneurysms: factors affecting time to maximum contrast concentration.	J. Neurosurgery	88	663-669	1998		
46	坂下恵治、相良健司、西池成章、藤村一郎	外傷時緊急検査における最適撮影・撮像の実例II	日本放射線技術学会雑誌	54	6 1 0~1 3	1998		
47	坂下恵治、相良健司、西池成章、藤村一郎	ネットワークの実例	日本放射線技術学会近畿部会雑誌	4	1 26-28	1998		
48	福田篤久	救急医療に携わる臨床検査技師の役割—緊急検査における迅速性とは—	大阪救急	57	33-34			
49	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	CPAOA患者における予後推測の試み	体液・代謝管理	14	50-54	1998		
50	福田篤久	日本語の通じない患者さんに対する工夫	検査と技術	26	8	658	1998	
51	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	技師のくちからもの申す！第1回：ナースが行う緊急臨床検査—その意義と重要性—	エマージェンシー・ナーシング	11	7 66-74	1998		
52	石田浩美、福田篤久	技師のくちからもの申す！第2回：リムテストにおける看護婦の役割	エマージェンシー・ナーシング	11	8 43-48	1998		
53	久保田芽里、福田篤久	技師のくちからもの申す！第3回：めざそう！救急ナースのより良い血液ガス測定—準備から測定までの心がけ—	エマージェンシー・ナーシング	11	9 80-88	1998		
54	小島義忠、福田篤久	技師のくちからもの申す！第4回：細菌検査の提出方法	エマージェンシー・ナーシング	11	10 65-72	1998		
55	横田順一郎	高度救急医療機関との連携時の注意	臨床と薬物治療	17	11 1038-1040	1998		
56	Takamichi Yuguchi, Eiji Kohmura, Junichiro Yokota, Mamoru Ito, Keiichi Yagi, Akira Kinoshita, Kazunori Yamanaka, Kana Nakamuta, Toru Hayakawa	Basic fibroblast growth factor in cerebrospinal fluid in patients with cerebrovascular disease	Advances in Neurotrauma Teseach	9	55-57	1997		
57	八木啓一	スワンガンツカテーテル挿入法	Medical Practice	15	283-287	1998		
58	横田順一郎	中央モニタリングシステムとファイリング	救急医学	23	2 229-236	1999		
59	横田順一郎	重度交通外傷の実態	' 9 8 医学と工学からみた交通安全対策		86-92	1998	瑞穂印刷、名古屋	日本交通医学工学研究会編集、発行
60	久保田芽里、石田浩美、小島義忠、福田篤久	ポータブル血液ガス分析装置 i-STAT における CDS の使用経験—CDS 利用の実例を中心に—	日本臨床検査自動化学会誌	23	6 720-724	1998		
61	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	臨床検査室で行う毒物定性試験	Medical Technology	27	2 127-132	1999		
62	石田浩美、福田篤久	技師のくちからもの申す！第8回：動脈血中ケトン体比(AKBR)における血糖値(血糖値が AKBR を左右する)	エマージェンシー・ナーシング	12	2 67-71	1999		
63	久保田芽里、福田篤久	技師のくちからもの申す！第9回：脳波のKnow how と non 脳波の脳波	エマージェンシー・ナーシング	12	3 77-83	1999		
64	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	技師のくちからもの申す！第10回：急がば回れ初療時検査	エマージェンシー・ナーシング	12	4 127-133	1999		
65	福田篤久	緊急微生物検査をめぐる(座談会)	Medical Technology	27	3 213-220	1999		
66	横田順一郎	手術の基本手技とそのコツ—開腹術、閉腹術—	救急医学	23	5 557-561	1999		
67	横田順一郎	化学物質と危険性—応急処置—	化学と教育	47	6 386-389	1999		
68	福田篤久	第三次救急医療における緊急検査—その使命と心構え—	検査と技術	27	7	817	1999	
69	小島義忠、石田浩美、久保田芽里、福田篤久	救急医療とスペシャリスト	大阪救急	59		17	1999	
70	久保田芽里、石田浩美、小島義忠、福田篤久	血液ガス検査の有効利用—迅速性を考える—	大阪救急	59	15-16	1999		
71	石田浩美、久保田芽里、小島義忠、福田篤久	初療時検査における患者情報の有用性	大阪救急	59	13-14	1999		
72	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠、八木啓一、横田順一郎	脳低体温療法中の凝固機能検査に関する研究—体温補正の必要性について—	Medical Postgraduates	37	4 36-41	1999		
73	平出敦、溝端康光、横田順一郎、田中裕、岸正司、吉岡伴樹、杉本壽	Critical Care における Nutritional Immunomodulation: d) 栄養成分としての antioxidant	集中治療	9	10 1122-1129	1997		
74	横田順一郎	一般外傷	救急救命士標準テキスト改訂5版		418-450	1999	へるす出版、東京	成書
75	横田順一郎	救急対応—主要徴候別マニュアル：2 ショック	レジデントノート	1	1 72-76, 115-116	1999	羊土社	
76	溝端康光、横田順一郎、堀川浩司、大松正宏	頭部外傷後の高ナトリウム血症に対する等Na濃度輸液を用いた体液量補正法の有効性	日本救急医学会雑誌	10	10 599-608	1999		
77	横田順一郎	救急医療における病診連携、疾患別にみた転送のタイミング：腹部外傷		18	3 90-94	2000		
78	高原健、溝端康光、横田順一郎、蘆田延之、龍神秀穂	鋭利な左背部肋骨骨折端が原因となった胸部下行大動脈損傷の1例	日本外傷学会雑誌	14	1 25-29	2000		
79	溝端康光、横田順一郎、龍神秀穂、高原健、中島義和	くも膜下出血後の遅発性脳血管攣縮発症因子としての血清ナトリウム異常の重要性	日本救急医学会雑誌	11	2 52-60	2000		
80	西内辰也、横田順一郎、杉本壽	Critical Care患者でのカロリーと栄養成分、投与経路の投与決定	集中治療	12	3 293-301	2000		
81	清水由紀枝、丸田栄一、松井希代子、藤井園子、澤田佳子、長谷川富美雄	2つの救命救急センターにおける中毒患者の比較—立地条件による患者搬入件数と原因物質の差—	日病薬誌	36	3 31-34	2000		
82	堀川浩司、横田順一郎、溝端康光、大松正宏、女川格、岩佐信孝、岸川政信	auronomic overactivityに対しバルビレート療法を行った重症破傷風の1例	日本救急医学会雑誌	11	4 169-174	2000		
83	森田大、行岡秀和、平出敦、池内尚司、林靖之、重本達弘、西内辰也、新谷裕、植嶋利文、高岡諒、大浦敦史、岩井江美子、山口剛、吉田泰雄、飯森正人、吉井桂樹、下川健次、尾辻信義、中西範幸、杉本壽、吉矢生人、桂田菊嗣	大阪府規模の地域における病院外心停止患者の網羅的記録集計	日本救急医学会雑誌	11	4 191-192	2000		
84	堀川浩司、大森陽子、横田順一郎	救急処置と看護 1 8 偶発性低体温患者の看護	Emergency nursing	13	7 75-81	2000		

85	横田順一郎	集団災害時のトリアージとは・一簡便なSTART式トリアージについてー	大阪救急		35-37		
86	小島義忠、石田浩美、久保田芽里、福田篤久	シリーズ「緊急検査を知る」(その1)血液型判定			14-18		2000
87	小島義忠、石田浩美、久保田芽里、福田篤久	簡易型血液分析機器を用いたPOCT支援ネットワークの構築について	医学検査	70	2 98-101		2000
88	小島義忠、久保田芽里、石田浩美、福田篤久	低分子ヘパリンのモニタリング	医学検査	49	2 168-172		2000
89	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	第三次救急医療におけるPOCTの有用性について<POC (point of care) 検査の現状と展望 (2)>	臨床病理	47	12 1113-1118		1999
90	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	薬毒物混入事件と病院検査室～迅速簡便な薬毒物定性試験の重要性～	大阪救急	60			1999
91	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	脳低温療法が凝固機能に及ぼす影響ー測定温度からの検討ー	体液・代謝管理	15	1 13-16		1999
92	小島義忠、石田浩美、久保田芽里、福田篤久	急性期における外傷重症度と凝固線溶動態について	体液・代謝管理	15	1 17-21		1999
93	溝端康光、横田順一郎、石田健、東平日出夫	急激な循環変動を認めた重症フグ中毒の1例	日本救急医学会雑誌	11	5 214-218		2000
94	水島靖明、東平日出夫、寺戸通久、溝端康光、横田順一郎	敗血症患者における肝血流量の変化ーpulse dye densitometry による検討ー	日本救急医学会雑誌	11	5 243-244		2000
95	横田順一郎	集団災害時のトリアージとは?ー簡便なSTART式トリアージについてー					2000
96	Yasumitsu Mizobata, Junichiro Yokota, yuichi Yajima, Keiji, Sakashita	Two cases of blunt hepatic injury with active bleeding from the right inferior phrenic artery	J. Trauma	48	6 1153-1155		2000
97	Yoshikazu Nakajima, Toshiki Yoshimine, Makoto Ogawa, Mayako Takanashi, Kana Nakamura, Motohiko Maruno, Hiroshi Hasegawa and Junichiro Yokota	A giant intracranial mucocele associated with an orbitoethmoidal osteoma	J. Neurosurg	92	697-701		2000
98	中島義和、大松正宏、横田順一郎、坂下恵治、藤村一郎、長谷川洋、吉峰俊樹	破裂脳動脈瘤急性期手術におけるCTアンギオグラフィーの有用性	厚生年金病院年報	25	73-78		1998
99	溝端康光、横田順一郎、矢嶋祐一、井戸口孝二	出血性ショックを呈する肝損傷における止血法選択基準の検討: TAE か開腹か	日本外傷学会雑誌	14	3 222-229		2000
100	中島義和、加藤天美、甲村英二、横田順一郎、長谷川洋、吉峰俊樹	破裂脳動脈瘤院内再出血例に対する中等度低温療法	The Mt. Fuji Workshop on CVD	18	174-176		2000
101	朴啓彰、東平日出夫、坂下恵治、平山東、横田順一郎	神経救急時における携帯情報端末器PDA (personal digital assistance) を用いた遠隔画像診断	脳神経外科速報	10	7 527-530		2000
102	丸田栄一、清水由紀枝、松井希代子	当センターにおける一元的管理システムを利用した血液製剤管理	日病薬誌	36	8 75-77		2000
103	T Matsuoka, T Yoshioka, J Oda, H Tanaka, Y Kuwagata, H Sugimoto and T Sugimoto	The impact of a catastrophic earthquake on morbidity rates for various illnesses	Public Health	114	249-253		2000
104	Yoshikazu Nakajima, Tahiki Yoshimine, Hiroshi Mori, Kana Nakamura, Ishiro Fujimura, Keiji Sakashita, Eiji Kohmura, Toru Hayakawa and Junishiro Yokota	Spontaneous disappearance and reappearance of a ruptured cerebral aneurysm: One case found in a group of 33 consecutive patients with subarachnoid hemorrhage who underwent repeat angiography	Neurological Research	22	584-587		2000
105	松岡哲也	頸椎牽引とハローベスト装着	救急医学	24	10 1408-1414		2000
106	溝端康光、日並淳介、横田順一郎	腹腔内圧測定	救急医学	24	10 1378-1383		2000
107	森田大、行岡秀和、平出敦、池内尚司、林靖之、重本達弘、西内辰也、新谷裕、植嶋利文、高岡諒、桂田菊嗣、消防機関の各委員	大阪府における病院外心停止症例の転帰調査ーUtstein様式を用いたコホート研究	大阪医学	34	1		2000
108	山下太、横田順一郎	肺塞栓症 急性死亡の病態	Emergency nursing	13	14 21-25		2000
109	溝端康光、横田順一郎	等Na濃度輸液を用いた体液量補正による重度頭部外傷後の血清ナトリウム制御法の検討	日本救急医学会雑誌	11	11 636-644		2000
110	石田浩美、福田篤久	初療時検査における患者情報の有用性有用性 検査技師の立場から	検査と技術	28	6 576-577		2000
111	久保田芽里、福田篤久	迅速報告を考えた血液ガス検体の有効利用	検査と技術	28	8 1070-1071		2000
112	久保田芽里、横田順一郎、福田篤久、石田浩美、小島義忠、溝端康光、八木啓一、田伏久之	40Hz ASR (auditory steady-state response) とABRによる頭部外傷患者の予後推定	日本臨床救急医学会雑誌	3	3 345-349		2000
113	松岡哲也	脊髄損傷	救急治療		21-22		2001
114	西池成章、藤村一郎、相良健司、坂下恵治	特集: デジタルイメージングの落とし穴<CR編>IVCRによる検査・診断の落とし穴 7、ポータブル撮影 撮影のテクニク	Innervision	15	77-81		2000
115	西池成章、藤村一郎、相良健司、坂下恵治	胸部デジタル画像を用いた胸空内貯留液変化量の定量的評価	日本放射線技術学会雑誌	56	3 472-479		2000
116	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠、溝端康光、松岡哲也、横田順一郎	患者の低体温凝固反応に及ぼす影響と凝固検査	臨床病理	48	12 1102-1108		2000
117	石田浩美、小島義忠、久保田芽里、福田篤久、松岡哲也、溝端康光、横田順一郎	CPA症例における血中アンモニア値と心肺停止時間の検討	Medical Postgraduates	39	1 60-64		2001
118	横田順一郎	救命救急センターにおける卒後教育	救急医学	25	1 44-47		2001
119	Tadahiko Shiozaki, Tosiaki Hayakawa, Mamoru Taneda, Yosikazu Nakajima, Nayuki Naashiguchi, Aatoshi Fujimi, Yasusi Nakamori, Hiroshi Tanaka, Takeshi Shimazu, Hisashi Sugimoto, Mild Hypothermia Study Group in Japan	A multicenter prospective randomized controlled trial of the efficacy of mild hypothermia for severely head injured patients with low intracranial pressure	J. Neurosurg	94	50-54		2001
120	Gouichi Kageyama, Kae Chang Park, Yoshiki Yoshimine and Junichiro Yokota	Extensive subdural empyema treated with drainage and barbiturate therapy under intracranial pressure monitoring: Case report	Neurological Research	22	601-604		2000

重複85

121	中島義和、横田順一朗、坂下恵治、久村英嗣、湯口貴導、平田雅之、加藤天美、甲村英二、吉峰俊樹	くも膜下出血超急性期における脳循環パラメーターの解析	Neurosurgical Emergency	5	1 25-28	2001
122	松岡哲也	筋膜切開	救急医学	25	3 342-343	2001
123	横田順一朗、臼井章浩	Damage control surgery	現代医療	33	3 139-144	2001
124	横田順一朗	コラボレーションを重視した医療危機管理活動	日本救急看護学会雑誌	2	2	2001
125	溝端康光	悪心・嘔吐	救急医学	25	4 455-459	2001
126	Yasumitsu Mizobata, Junichiro Yokota, Tetsuya Matsuoka, Hiroshi Horikawa, keisuke Nakai, Atsuhisa Fukuda	Volume supplementation with iso-sodium solution prevents hypernatremia after head injury	J. Trauma	50	5 871-877	2001
127	山下太、横田順一朗	肺塞栓症 急性死亡の病態	Emergency nursing	14	21-25	2000
128	龍神秀穂、横田順一朗、八木啓一	飛行機旅行直後に発症した肺血栓 (Economy Class Syndrome) の1例	日本救急医学会雑誌	12	4 202-206	2001
129	松岡哲也、横田順一朗、杉本壽	骨盤外傷の病態生理からみた診断、治療	「骨・関節・靭帯」	14	5 395-404	2001
130	堀川浩司、横田順一朗	スポーツ救護体制における消防・搬送先医療機関との連携	救急医学	25	6 744-745	2001
131	Yasumitsu Mizobata, Junnnnichiro, Yokota, Ishiro Fujimura, Keiji Sakasita	Technical Innovatino Successful Evaluation of Pseudoaneurysm Formation After Blunt Renal Injury with Dual-Phase Contrast-Enhanced Helical CT	AJR	177	136-138	2001
132	矢嶋祐一、横田順一朗	骨格筋症候群—その他の神経筋疾患を含めて— (上巻) 劇症型A群レンサ球菌	日本臨牀	35	210-214	2001
133	東平日出夫、横田順一朗	骨格筋症候群—その他の神経筋疾患を含めて— (上巻) Edwardsiella tarda		35	235-238	2001
134	堀川浩司、井戸口孝二、溝端康光、横田順一朗	特集：腹部救急における保険診療上の問題点 腹部外傷手術の保険診療上の問題点—腹部疾病手術と比較して—	日本腹部救急医学会雑誌	21	5 797-803	2001
135	西内辰也、横田順一朗、溝端康光、裏岡富次、杉本壽	心刺創20例の臨床的検討	日本外傷学会雑誌	15	3 251-255	2001
136	中井啓輔、横田順一朗、杉本壽	深在性真菌症の抗菌剤療法	集中治療	10	11 1185-1193	1998
137	坂下恵治、相良健司、遠藤俊夫、田邊智晴、山田浩司、魚谷宗司、辰巳大作、三上秀樹、中村賢二、岡本誉、上島博、福西康修、野田光男、坂本寛、佐藤芳則、山本浩司	救急医療における撮影技術：腹部・骨盤撮影	日本放射線技術学会	7	2 51-56	2001
138	山本浩司、榊芳則、遠藤俊夫、佐藤和彦、野田光男、坂本寛、福西康修、上島博、岡本誉、三上秀樹、中村賢二、辰巳大作、魚谷宗司、山田浩司、田邊智晴、相良健司、坂下恵治	救急医療における撮影技術：頭頸部・胸部撮影	日本放射線技術学会 近畿部会雑誌	7	2 46-50	2001
139	横田順一朗	救命救急センターの役割と限界	救急医学	25	8 879-882	2001
140	溝端康光、横田順一朗、東平日出夫、矢嶋祐一、中井啓輔、井戸口孝二	訓練での使用経験からみた本邦のトリアージタッグの問題点	日本集団災害医学会誌	6	1 17-23	2001
141	中島義和、長谷川洋、横田順一朗、溝端康光、吉田裕彦、久村英嗣、加藤天美、甲村英二、吉峰俊樹	くも膜下出血院内再破裂症例に対する中等度低体温療法	厚生年金病院年報	26	35-43	1999
142	中島義和、加藤天美、平田雅之、久村英嗣、渡部貴士、湯口貴導、甲村英二、吉峰俊樹、坂下恵治、横田順一朗	脳動脈瘤患者における脳灌流不全による虚血病態の解明		19	64-66	2001
143	溝端康光	膀胱内圧モニター	救急医学	25	10 1030-1311	2001
144	水島靖明、横田順一朗	頭部外傷を含む多発外傷患者に対するprehospital careから resuscitation phaseに至る問題点と今後の課題	救急医学	25	11 1353-1539	2001
145	井戸口孝二、横田、矢嶋祐一、東平日出夫、八木啓一、田畑孝	救命救急領域における良性気道狭窄に対する気道ステント治療	日本臨床救急医学会雑誌	4	5 478-485	2001
146	丸田栄一、今川明子、清水由紀枝、横田順一朗	救命救急センターにおける副作用軽減のための薬剤師の役割				2001
147	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	シリーズ「緊急検査を知る」(その6) 緊急検査における迅速報告を重視したサンプリング				2001
148	久保田芽里、横田順一朗、石田浩美、小島義忠、福田篤久	40Hz ASRとABRIによる頭部外傷患者の予後推定	臨床脳波	43	8 491-495	2001
149	福田篤久、久保田芽里、石田浩美、小島義忠	脳死判定における脳波検査とその心構え	検査と技術	29	4 394-396	2001
150	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	初療時血中アンモニア値は心肺停止時間を予測できるか～心肺停止時間予測式の検証～	体液・代謝管理	17	25-29	2001
151	小島義忠、福田篤久	救命救急センター専属検査室におけるリスクマネジメント	検査と技術	29	12 1381-1383	2001
152	横田順一朗	地域救急医療システムとメディカルディレクター	救急医学	25	13 1867-1872	2001
153	水島靖明、田中裕	heat stroke—熱ストレスに対する生体反応—	救急・集中治療	13	12 1237-1245	2001
154	Tetsuya Matsuoka, Tishiharu Yoshioka, Hirishi Takana, Norihisa Ninomiya, Jun Oda, Hisashi sugimoto, Junichiro Yokota	Lon-term physical outcome of the patients who suffered crush syndrome after 1995 Hanshin-Awaji earthquake; prognostic indicators in retrospect	J Trauma	52	1 33-39	2002
155	大森陽子、藤本美絵、岡登美子、松岡哲也、横田順一朗	広範囲熱傷植皮術中の体温低下に対する、赤外線ウオーマーの予防効果について	日本熱傷学会誌	27	5 54-59	2001
156	水島靖明、杉本壽	性ホルモン—shockとの関連で—	救急・集中治療	13	80-83	2001
157	Tstsuya Nishiuchi, Hiroshi Horikawa, Junske Hinami, Junichiro Yokota	An usual case of noncavitary hemorrhage revealed by intravenous contrast-enhanced computed tomography	J. Emerg. med	22	1 21-25	2002
158	井戸口孝二、横田順一朗	特集：腹部外傷に対する治療戦略 (外傷分類の意義と問題点も含めて)	日本腹部救急医学会雑誌	22	3 541-548	2002
159	横田順一朗	救命救急センターの現状	Medical Technology	30	4 409-414	2002

重複108

160	横田順一郎	外来での初期治療の進め方	外科治療	86	4 376-383	2002
161	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	救命救急センターにおけるPOCTの位置づけ—POCTと緊急検査は違うのか—	日本臨床検査自動化学会誌	27	2 107-110	2002
162	小島義忠、福田篤久	救急患者が搬送された時の検査のポイント	Medical Technology	30	4 422-424	2002
163	久保田芽里、福田篤久	CPAから脳死判定まで	Medical Technology	30	4 424-426	2002
164	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	救命救急センターにおける臨床検査～迅速報告を目指した裏技～	Medical Technology	30	4 417-422	2002
165	横田順一郎	肝損傷とdamage control	救急医学	26	6 659-665	2002
166	水島靖明、横田順一郎	出血性ショックの治療	産婦人科治療	84 増刊	63 (679)-65 (681)	2002
167	小濱啓次、石原晋、甲斐達朗、金弘、杉山貢、田中経一、野口宏、畑尾正彦、羽生田俊、福田充宏、益子邦洋、山本五十年、横田順一郎	病院前救護体制の構築に関する研究—メディカルコントロールに係わる医師研修プログラムの検討	平成13年度厚生科学研究費補助金			2002
168	小濱啓次、石原晋、金弘、杉山貢、田中経一、益子邦洋、森脇義弘、松原泉、山本五十年、横田順一郎	病院前救護体制の構築に関する研究	平成12年度厚生科学研究費補助金		1-39	2001
169	横田順一郎	Damage control surgeryと標準手術の相違	日本外科学会雑誌	103	7 503-506	2002
170	坂下恵治、上島博、魚谷宗司、遠藤俊夫、榊芳則、坂本寛、相良健司、佐藤和彦、辰巳大作、田邊智晴、福西康修、山田浩司	救急医療におけるイメージングの体系化見当班報告	日本放射線技術学会	58	9 1208-1212	2002
171	田崎修、横田順一郎	救急医療とモニター脳神経—Sj02モニター	Clinical Engineering	13	6 547-551	2002
172	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	凝固検査における体温補正の必要性（その1）	検査と技術	30	6 550-551	2002
173	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠、横田順一郎	エコノミークラス症候群	生物試料分析	25	2 227-234	2002
174	石田浩美、久保田芽里、小島義忠、福田篤久	シリーズ「緊急検査を知る」（その8）呼気ガスを用いたCOHb検査				
175	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	凝固検査における体温補正の必要性（その2）	検査と技術	30	8 772-773	2002
176	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	救急医療における技師による臨床支援～迅速な報告をするために何をすべきか～	医療と検査機器・試薬	25	5 388-393	2002
177	横田順一郎	外傷初期診療と開腹術の適応	消化器外科	25	10 1515-1523	2002
178	溝端康光、横田順一郎	明確な搬送基準の導入により鈍的外傷患者の死亡率低下が期待できる	日本外傷学会雑誌	16	4 314-316	2002
179	山村仁	外傷患者に対するDamage control surgeryとその適応基準	外科治療	87	5 539-540	2002
180	山村仁、横田順一郎	特集：重症腹部救急疾患への新しい治療戦略—閉腹に関する発想の転換—DCSの功罪—理論と実際上の問題点	日本腹部救急医学会雑誌	22	7 1025-1030	2002
181	石田浩美、松岡哲也、横田順一郎、溝端康光、久保田芽里、小島義忠、福田篤久	来院時心肺機能停止症例における高アンモニア血症の臨床的意義について	日本臨床救急医学会雑誌	5	5 490-494	2002
182	横田順一郎	外傷初期診療における胸部外傷の位置づけ—JATEC (Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)ガイドラインより—	救急医学	26	12 1670-1674	2002
183	横田順一郎	救命救急と診療放射線技師—外傷診療における画像診断の役割—	日本赤十字放射線技師会 会誌	44	99-107	2003
184	溝端康光、横田順一郎	救急領域のCT画像：肝損傷	外科治療	88	3 359-373	2003
185	東平日出夫、横田順一郎	外傷	救急医学	27	3 274-278	2003
186	横田順一郎	世界標準の最新救命処置：外傷初期診療—JATECが推奨する診療手順：蘇生から全身の損傷検索へ—	日経メディカル	2	147-150	2003
187	Yasuyuki Mizushima, Hideo Tohira, Yasumitsu Mizobata, Tetsuya Matsuoka, Junichiro Yokota	Assessment of effective hepatic blood flow in critically ill patients by noninvasive pulse dye-densitometry	Durgery Today	33	101-105	2003
188	松岡哲也、横田順一郎	緊急時に画像診断を使いこなす鑑別診断のための画像診断頸椎外傷を疑う	Medical	40	4 635-641	2003
189	大友康裕、辺見弘、本間正人、益子邦洋、小関一英、横田順一郎、村田厚夫、島崎修次	重度外傷搬送先医療施設選定には、受け入れ病院の診療の質評価が必須である—厚生科学研究「救命救急センターにおける重度外傷患者への対応の充実に向けた研究」の結果報告—	日本外傷学会雑誌	15	4 319-323	2002
190	横田順一郎	救急医療における画像診断	北陸アンギオ研究会誌	10		2003
191	坂下恵治	救急撮影法	北陸アンギオ研究会誌	10		2003
192	坂下恵治、相良健司、西池成章、藤村一郎	Ⅲ救急医療における撮影技術：腹部・骨盤撮影	平成13年度臨床講座（救急医療領域）			2001
193	小濱啓次、石原晋、甲斐達朗、加藤正哉、金弘、杉山貢、鈴木正之、瀧健治、林靖之、福田充宏、藤井千穂、益子邦洋、森脇義弘、山本五十年、横田順一郎	Medical control体制における救急専従医の役割とあり方	平成14年度厚生労働科学研究費補助			2003
194	水島靖明、井戸口孝二、溝端康光、松岡哲也、横田順一郎	敗血症患者における有効肝血流の変化と全身酸素摂取率との関係について	日本救急医学会雑誌	14	6 298-303	2003
195	溝端康光、日並淳介、横田順一郎	日本の外傷医療の問題点と今後の課題—外傷医が診るまでの問題点を中心に—	日外傷会誌	15	4 308-309	2001
196	横田順一郎	多発外傷に対する集中治療	ICUとCCU	27	6 459-463	2003
197	水島靖明、溝端康光、松岡哲也、横田順一郎	侵襲的処置のデータ—ベース化による合併症回避の試み	日本臨床救急医学会雑誌	6	4 365-370	2003
198	井戸口孝二、横田順一郎	外傷初期診療における超音波検査（FAST）	救急医学	27	9 1098-1099	2003
199	藤村一郎、西池成章、相良健司、坂下恵治	Ⅲ腹部1. 急性腹症腹部単純X線撮影の技術の役割	Innervision	18	44-47	2003
200	横田順一郎	外傷・熱傷に対する治療手技：外傷の初期治療	救急医学	27	10 1317-1321	2003

201	溝端康光	輪状甲状靱帯穿孔と経気管ジェット換気	救急医学	27	10	1152-1155	2003		
202	溝端康光、矢島祐一、横田順一郎、	鈍的大動脈損傷の診断と治療—EAST practice guideline をも とにした臨床例の検証—	日本外傷学会雑誌	17	4	333-341	2003		
203	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	ベッドサイドにおける一酸化炭素測定の試み～呼気ガスを用い た測定の検討～	体液・代謝管理	18		51-54	2002		
204	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	シリーズ「緊急検査を知る」（その10）患者情報を活かした リスクマアネージメントの提案					2003		
205	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	緊急検査時の看護 血液検査3項血球検査（赤血球、白血球、 血液像など）	Emergency nursing		春増 刊	71-80	2003		
206	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	緊急検査時の看護 血液検査2項動脈血液検査（血液ガス分 析）	Emergency nursing		春増 刊	59-70	2003		
207	久保田芽里、福田篤久	緊急時の特殊検査の看護 聴性脳幹誘発反応検査	Emergency nursing		春増 刊	270-280	2003		
208	石田浩美、福田篤久	緊急検査時の看護 血液検査1項血液型・交差適合試験	Emergency nursing		春増 刊	52-58	2003		
209	小島義忠、石田浩美、久保田芽里、福田篤久、横田順一郎	薬毒物文責機器非配備施設における薬毒物検査への取り組みに ついて；界面活性剤簡易定性試験の検討を中心に	中毒研究	16		43-49	2003		
210	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	緊急検査としてのPOCTの位置づけ	臨床検査	47	1	57-62	2003		
211	欠番								
212	横田順一郎、大友康裕、川井真、木村昭夫、、、、	外傷診療のポイント；JATEC—JATECの概念とその目指すもの—	救急医学	27	12	1715-1718	2003		
213	中谷寿男、横田順一郎、大友康裕、川井真、木村昭 夫、、、、	外傷診療のポイント；JATEC	救急医学	27	12	1725-1729	2003		
214	溝端康光、横田順一郎	輪状甲状靱帯穿孔と切開の適応と手技	救急・集中治療	15		42-48	2003		
215	横田順一郎	一知っておくと役立つ画像診断シリーズ—急性期の病態からモ ダリティの選択とpriorityを考える	日本放射線技術学会雑誌	59	12	1502-1507	2003		
216	松本和枝、井出由起子、二藤真理子、瀬戸島さち江、横田順一 朗	インシデントレポートの活用と今後の課題	Emergency nursing	15	3	80-88	2002		
217	松本和枝、北尾ミサ子	救命救急センターで取り組む安全管理（事故を防止する看護戦 略）	Emergency nursing	16	10	36-41	2003		
218	西内辰也、横田順一郎	外因性疾患	救急医学	27	13	1821-1826	2003		
219	横田順一郎	多発外傷	エキスパートナース臨時増刊号；最新 救急マニュアル	18	14	175-179	2002		
220	横田順一郎、山村 仁、溝端康光	腹部外傷に対するダメージコントロールサージェリー；肝外傷 などの実質臓器損傷	ダメージコントロール			88-96	2003	メディカルレ ビュー、大阪	島崎修次監修、村 田厚夫編集 著書
221	横田順一郎	多発外傷	救急救命士標準テキスト改訂第6版			719-724	2002	へるす出版、東 京	救急救命士教育研 究会 著書
222	横田順一郎	高齢者の外傷	救急救命士標準テキスト改訂第6版			725-727	2002	へるす出版、東 京	救急救命士教育研 究会 著書
223	横田順一郎	救急診断の目的と特殊性	看護のための最新医学講座第25巻； 救急			24-28	2002	中山書店、東京	日野原重明、井村 裕夫監修、中谷寿 男編集
224	横田順一郎	A. 外相の評価；2. 局所評価	ゴールドスタンダード整形外科；外 傷・救急				2003	南江堂、東京	中村利孝、吉川秀 樹編集 著書
225	横田順一郎	II. 救急初期診療における診療指針 1. 初期対応 C. JATEC	救急診療指針第2版			33-38	2003	へるす出版、東 京	日本救急医学会監 修 日本救急医学 会認定医認定委員 会編集 著書
226	横田順一郎	II. 救急初期診療における診療指針 7. 外因性救急の診療指針 A. 外傷、(8) 多発外傷	救急診療指針第2版			297-301	2003	へるす出版、東 京	日本救急医学会監 修 日本救急医学 会認定医認定委員 会編集 著書
227	横田順一郎	外傷患者の初期診療	レジデントノート	4	8	24-29	2002	羊土社	
228	横田順一郎	気道と呼吸の管理	レジデントノート	4	8	30-37	2002	羊土社	
229	横田順一郎	13. 外傷 J. 広範囲挫減損傷	標準救急医学第3版			362-365	2001	医学書院、東京	日本救急医学会監 修・ 著書
230	横田順一郎	メディカルコントロールとは	救急救命士必携 救急現場における観 察と対処のポイント			132-133	2000	医薬ジャーナ ル、大阪	杉本壽、横田順一 朗編集 著書
231	Tatsuya Nisiuti, Atsushi Hiraide, Ysduyuki Hayashi, Toshifumi Uejima, Hiroshi Morita, Hidekazu Yukioka, Tatsuhiro Shigemoto, Hisashi Ikeuchi, Masanori Matsusaka, Taku Iwami, Hiroshi Shinya, Junichiro Yokota	Incidence and survival rate of bystander-witnessed out- of-hospital cardiac arrest with cardiac etiology in Osaka, Japan: a population-based study according to the Utstein style	Resuscitation	59		329-335	2003		
232	溝端康光、横田順一郎	輪状甲状靱帯穿孔と切開の適応と手技	救急・集中治療	15	増刊	42-48	2003		
233	水島靖明、横田順一郎	急性膵炎、胆嚢炎	外科治療	90	2	203-212	2004	永井書店	
234	横田順一郎	外傷初期診療ガイドラインとJATECコース	救急・集中治療	16	3	259-268	2004	総合医学社	
235	横田順一郎	外傷	救急医学	28	3	348-351	2004	へるす出版	
236	中島義和、加藤天美、甲村英二、横田順一郎、長谷川洋、吉峰 俊樹	破裂脳動脈瘤院内再出血例に対する中等度低体温療法		18		174-176	2000		
237	中島義和、加藤天美、平田雅之、久村英嗣、渡部貴士、湯口貴 導、甲村英二、吉峰俊樹、坂下恵	脳動脈瘤患者における脳灌流不全による虚血病態の解明		19		64-66	2001		



238	中島義和、長谷川洋、横田順一郎、溝端康光、吉田裕彦、久村英嗣、加藤天美、甲村英二、吉峰俊樹	くも膜下出血院内再破裂症例に対する中等度低体温療法		26	35-43	1999	厚生年金病院年報
239	中島義和、横田順一郎、坂下恵治、久村英嗣、湯口貴導、平田雅之、加藤天美、甲村英二、吉峰俊樹	くも膜下出血超急性期における脳循環パラメーターの解析	Neurosurgical Emergency	5	1 25-28	2000	
240	石川和男	後腹膜腔の新しい概念と後腹膜腔疾患 (1)	外科治療	90	4 807-814	2004	永井書店
241	横田順一郎	特集：心肺蘇生・外傷初療の標準化 JATEC誕生の経緯と今後の展開	ICUとCCU	28	4 239-245	2004	
242	松岡哲也	初期診療で注意すべき四肢外傷	救急医学	28	571-575	2004	へるす出版
243	溝端康光	外傷時の気道管理	救急医学	28	5 517-521	2004	へるす出版
244	水島靖明	利尿薬 Diuretics	総合臨床	53 増刊	776-777	2004	永井書店
245	松岡哲也	外傷 63. 出血性ショック Hemorrhagic shock	総合臨床	53 増刊	662-666	2004	永井書店
246	溝端康光	中毒・その他 54. フグ中毒 Puffer fish poisoning	総合臨床	53 増刊	621-624	2004	永井書店
247	石川和男	後腹膜腔の新しい概念と後腹膜腔疾患 (2)	外傷治療	90	5 917-927	2004	永井書店
248	西内辰也	強心薬 Inotropic agents	総合臨床	53 増刊	782-783	2004	永井書店
249	横田順一郎	3. 外傷の救急診療 Emergency trauma care	総合臨床	53 増刊	42 (662) -46 (666)	2004	永井書店
250	横田順一郎	JATEC コースの仕組みと今後の展望	救急医学	28	5 613-614	2004	へるす出版
251	溝端康光	23. ダメージコントロールの合併症	ダメージコントロール		196-201	2003	
252	山村仁	昇圧薬 Vasopressor drug	総合臨床	53 増刊	780-781	2004	永井書店
253	久保田芽里、福田篤久 Meri Kubota, Hiromi Isida, Yoshitada Kojima, Atsujisa Fukuda, Yasuaki Mizushima, Yasumitsu Mizobata, Tetsuya Matsuoka, Junichiro Yokota	救急領域における初療時血液ガス血糖同時測定の意義	検査と技術	32	1 69-71	2004	医学書院
254		Impact of Mobile Clinical Analyzers on Disaster Medicine: A Lesson From Crush Syndrome in the 1995 Hamshin-Awaji Earthquake	MANAGEMENT&TECHNOLOGY	37	4 259-262	2003	
255	東平日出夫	多発外傷の初療	救急医療：治療		31-32	2004	医学書院
256	水島靖明	肺損傷	救急医療：治療		40	2004	医学書院
257	井戸口孝二	肝損傷	救急医療：治療		46	2004	医学書院
258	相良健司、西池成章、藤村一郎、坂下恵治	腹部鈍的外傷患者における、造影CT撮影後腹部X線撮影の有用性～尿路系の損傷が疑われる場合～	Medical 映像情報	35	3 256-257	2003	
259	相良健司、西池成章、藤村一郎、坂下恵治、福田篤久	救急ポータブルX線撮影とナースの役割	Emergency nursing	12	5 44-48	1999	メディカ出版
260	松本和枝、北尾ミサ子、横田順一郎	救命救急センターにおける医療安全管理活動	看護展望	28	7 64-70	2003	
261	坂下恵治	救急医療に必要な放射線機器と検査法	診療放射線技術 上巻	11	183-188	2004	南江堂、東京
262	東平日出夫、横田順一郎	外傷登録に関するアンケート調査-Abbreviated Injury Scaleのコード選択のルールについて	日本外傷学会雑誌	18	4 409-413	2004	
263	松岡哲也、横田順一郎	特集 知っておくべき外傷患者の初期診療 骨盤骨折患者の初期診療	外科治療	91	5 567-575	2004	永井書店
264	水島靖明	NSAIDsの危険性	NursingToday別刷	19	12 117-119	2004	日本看護協会出版会
265	坂下恵治	画像診断技術の臨床アプローチ 救急救命検査	診療放射線技師のための臨床実践ハンドブック		254-263	2004	文光堂、東京
266	西内辰也、横田順一郎	気管切開・輪状甲状靭帯切開	救急医学	28	12 1459-1464	2004	へるす出版
267	Kazuo Ishikawa, Tetsuro Nishimura, Susan deSerres, and Anthony A. Meyer	The Effects of Transforming Growth Factor- $\beta$ Neutralization on Postburn Humoral Immunity	The journal of TRAUMA Injury, Infection, and Critical Care	57	3 529-536	2004	
268	石川和男、横田順一郎	腹部外傷(全般)	救急・集中治療	16 臨時増刊号	186-192	2004	総合医学社
269	石川和男	出血性ショック	救急医療：治療		12~13	2005	
270	坂下恵治、相良健司、西池成章、藤村一郎	教育講座-EBM手法に基づき放射線技術-EBMIに基づき救急撮影技術のあり方	日本放射線技術学会雑誌	61	4	2005	日本放射線技術学会
271	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠、中西潤	呼吸ガスを用いた一酸化炭素測定を試み-ToxCOの基礎的性能試験とPOCTへの新たな可能性について-	近代消防別刷	42	12 68-72	2004	
272	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	検査室より	日本検査血液学会雑誌	5	3 417-418	2004	
273	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	”検査室業務の開拓(2)” 救急医療現場に直結する薬毒物測定の実践をめぐって-何を測定すればいいのか?-	臨床病理	53	1 26-33	2005	日本臨床検査医学会
274	横田順一郎	外傷初期診療の標準：JATECについて	治療	87 3月増刊号	1037-1039	2005	南山堂
275	鈴木全、横田順一郎	踊り場で寝ていた酔っ払者を泥酔者と片づけてはいけない!	治療	85 3月増刊号	351-353	2003	南山堂
276	鈴木全、横田順一郎	Guidelines2000とACLS(advanced cardiovascular life support)	カントセラピー	23	7	2005	
277	水島靖明、横田順一郎	特集4 緊急時の点滴薬剤の間違いを防ごう 研修医の点滴薬剤事故防止のための教育プログラム-救命救急センターにおける点滴薬剤のインシデントとその対策	エマージェンシー・ケア	18	3 33-38	2005	メディカ出版
278	溝端康光、横田順一郎、石川和男、井戸口孝二、西内辰也、上野正人	傷病者の明確な搬送先選定基準の導入は外傷死亡率を低下させる	日本救急医学会雑誌	16	5 209-217	2005	
279	鈴木全	病棟での急変-PrimaryABCDから二時救急処置へ-心停止の心電図診断とSecondaryABCD	治療	87	7 2131-2136	2005	南山堂

280	溝端康光、横田順一郎、山村仁、西内辰也、鈴木全、松岡哲也	地域規模調査にもとづく外傷搬送先選定基準の評価	日本外傷学会雑誌	19	3 247-254	2005	
281	坂下恵治、相良健司、西池成章、藤村一郎	救急撮影法	放射線医療技術学叢書(20)			2001	
282	坂下恵治	診療放射線技師教育について思うこと	日本赤十字放射線技師会誌	46	34-35	2005	
283	坂下恵治	ワークショップより良い撮影技術を求めて(その77)―「救急医療現場における撮影技術～急性腹症を中心に」 一般撮影	放射線撮影分科会誌	45		2005	日本放射線技術学会
284	坂下恵治、相良健司、西池成章、藤村一郎	Virtual Interview第6回 大阪府立泉州救命救急センター	日本放射線技術学会医療情報分科会雑誌	5	35-40	2005	
285	久保田芽里、石田浩美、小島義忠、福田篤久	重症熱傷患者におけるハプトグロビン測定の有用性について	Medical Postgraduates	43	2 91-96	2005	医学書房
286	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	迅速検査法(アジ化物、界面活性剤)―中毒学会提言15項目以外の薬毒物検査	臨床検査	49	5 568-577	2005	医学書院
287	福田篤久、増田詩織、久原巻彦	今後の緊急検査を支える分析機器	生物試料分析	28	5 349-352	2005	
288	久保田芽里、石田浩美、小島義忠、福田篤久	緊急検査における血液ガス分析装置の役割 同時測定の有効利用とビットホール	生物試料分析	28	5 353-358	2005	
289	後藤弘明、坂下恵治、西原貞光、原武史、周向栄、藤田広志	救急医療頭部CT画像における頭蓋内病変検出アルゴリズムの開発	信学技報	64		2005	社団法人 電子情報通信学会
290	Yasuaki Mizusima MD, Hideo Tohira MD, Yasumitsu Mizobata MD, Tetsuya Matsuoka MD, Junichiro Yokota MD	Fluid resuscitation of trauma patients: how fast is the optimal rate?	The American Journal of Emergency Medicine	23	833-837	2005	
291	横田順一郎	JATEC(Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)が教える外傷初期診療理論	日本外傷学会雑誌	17	2 88-92	2003	
292	山村仁、二藤真理子、長田幸子、横田順一郎	小児救急シート(泉州版)と医療器具収納ボックスの作成	日本臨床救急医学会雑誌	8	6 424-429	2005	
293	坂下恵治	急性腹症への対応ABC	放射線撮影分科会誌	46	53-56	2006	日本放射線技術学会
294	相良健司、坂下恵治	血管撮影(angiography)	放射線技術学シリーズ 診療画像技術学-X線-	1	1 150-161	2003	日本放射線技術学会
295	藤村一郎、坂下恵治	IVR(Interventional Radiology)	放射線技術学シリーズ 診療画像技術学-X線-	1	1 161-167	2003	日本放射線技術学会
296	西池成章、坂下恵治	造影(造影剤、安全、注入方法)	放射線技術学シリーズ 診療画像技術学-X線-	1	1 168-173	2003	日本放射線技術学会
297	坂下恵治、三原一博	救急撮影(emergency radiography)	放射線技術学シリーズ 診療画像技術学-X線-	1	1 196-201	2003	日本放射線技術学会
298	中西潤、坂下恵治	救急用器具(emergency accessories)	放射線技術学シリーズ 診療画像技術学-X線-	1	1 205-207	2003	日本放射線技術学会
299	瀬戸島さち江、坂下恵治	看護処置(nursing)	放射線技術学シリーズ 診療画像技術学-X線-	1	1 207-211	2003	日本放射線技術学会
300	Kazuo Ishikawa, Hideo Tohira, Yasuaki Mizushima, Tetsuya Matsuoka, Yasumitsu Mizobata, and Junichiro Yokota	Traumatic Retroperitoneal Hematoma Spreads Through the Interfascial Planes	The journal of TRAUMA Injury, Infection, and Critical Care	59	3 595-608	2005	
301	松岡哲也、小野秀文	多発外傷に合併した四肢外傷に対する治療戦略	救急医学	30	5 577-583	2006	へるす出版
302	水島靖明、田中裕	胸部外傷からみた治療戦略	救急医学	30	5 564-570	2006	へるす出版
303	水島靖明、上野正人、石川和男、松岡哲也、横田順一郎	外傷患者における発熱の意義-予後規定因子としてのflow phaseの重要性-	日本救急医学会雑誌	17	4 147-149	2006	
304	井戸口孝二、溝端康光、松岡哲也、水島靖明、石川和男、山村仁、横田順一郎	新たに考案したトリアージタッグ書式の有用性-消防庁書式との比較検討-	日本救急医学会雑誌	17	5 183-191	2006	
305	松岡哲也	圧挫症候群の初期治療と予防の指針	救急・集中治療	18	5.6 604-606	2006	総合医学社
306	鈴木全	大阪府下泉州二次医療圏の救急医療体制	新潟県医師会報	676	1~6	2006	
307	松岡哲也、小野秀文	筋区画内圧の測定と筋膜切開	救急医学	30	10 1427-1433	2006	へるす出版
308	坂下恵治、相良健司、西池成章、藤村一郎	教育講座―技師が書く技師のための読影講座―救急医療における一般撮影	日本放射線技術学会雑誌	62	11 1516-1523	2006	日本放射線技術学会
309	宮坂勝之、大田邦雄、清水直樹、西崎彰、六車崇	小児の二次救命処置	AHA 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2005(日本語版)		213-237	2005	
310	Kazuo Ishikawa, Koji Idoguchi, Hiroshi Tanaka, Yoshiki Tohma, Isao Ukai, Hiroaki Watanabe, Tetsuya Matsuoka, Jyunichiro Yokota, Tsuyoshi Sugimoto	Classification of acute pancreatitis based on retroperitoneal extension: Application of the concept of interfascial planes	European Journal of Radiology	60	445-452	2006	
311	堀信一、大須賀慶悟、栗井和夫、行正剛、坂下恵治	DAのデータを扱う際の注意点、ネットワークシステム構築の考え方	INNERVISION	14	1 86-89	1999	医療科学社
312	相澤宏明、横井慎也、原武史、周向栄、藤田広志、坂下恵治、松岡哲也	救急医療腹部CT画像における造影効果を利用した肝臓内活動性出血の自動検出	信学技報	75	31-36	2006	社団法人 電子情報通信学会
313	横井慎也、相澤宏明、原武史、周向栄、藤田広志、坂下恵治、松岡哲也	救急医療腹部CT画像における血腫領域の自動検出と出血量推定法の検討	信学技報	76	37-42	2006	社団法人 電子情報通信学会
314	相澤宏明、横井慎也、原武史、周向栄、藤田広志、坂下恵治、松岡哲也	腹部造影CT画像における救急医療画像診断支援のための肝臓内活動性出血の自動検出	信学技報	146	239-242	2007	社団法人 電子情報通信学会

315	横井慎也、相澤宏明、原武史、周向栄、藤田広志、坂下恵治、松岡哲也	救急医療画像支援診断のための腹部造影CT画像における腹腔内血腫の自動検出	信学技報	147	243-246	2007	社団法人 電子情報通信学会
316	熊谷孝三、坂下恵治、土井司、増田一孝	専門技師制度とスーパーテクノロジー未来の診療放射線技師を目指して	日本放射線技師学会雑誌	63	1 1~1 5	2007	日本放射線技師学会
317	坂下恵治	救急撮影専門技師認定制度の構想	INNERVISION	22	1 35-36	2007	医療科学社
318	石川和男、松岡哲也、横田順一郎	腹部外傷一瞬損傷一	救急医学	31	4 451-454	2007	へるす出版
319	六車崇、松岡哲也	肩が痛い	救急医学	31	5 535-537	2007	へるす出版
320	Takeshi Hara, Naoto Matoba, Xiangrong Zhou, Shinya Yokoi, Hiroaki Aizawa, Hiroshi Fujita, Kenji Sakashita, Tetsuya Matsuoka	Automated Detection of Extradural Hematoma for Contrast-enhanced CT Image in Emergency Medical Care	Proceedings of SPIE	6514		2007	
321	松岡哲也、坂下恵治	手術室での大型モニタの有用性と技術的要件	新医療	34	9 94~96	2007	(株) エムイー振興協会
322	上野正人 松岡哲也	頭頸部・顔面	救急医学	31	8 903~904	2007	へるす出版
323	鈴木全、石川和男、溝端康光、松岡哲也、横田順一郎	心タンポナーデを呈した緑膿菌による心外膜炎の一例	日本臨床救急医学会雑誌	10	4 443~448	2007	日臨救医誌
324	日下部賢治、松岡哲也	四肢一切断四肢	救急医学	31	8 905~907	2007	へるす出版
325	相良健司、西池成章、藤村一郎、坂下恵治	教育講座一技師が書く技師のための読影講座一腹部単純X線撮影の基礎	日本放射線技術学会	63	11 1268-1277	2007	
326	akinori osuka/ koji idoguchi/takashi muguruma/kazuo ishikawa/yasuki mizushima	duodenal Disruption Diagnosed 5 Days After Blunt Trauma in a 2-Year-old child: Report of a Case	Surgery today	37	4 984-988	2007	
327	井戸口孝二	一般医のためのエコー活用法IV、腹部 状況からみた腹部エコー 腹部外傷	medicina	44	5 367-373	2007	医学書院
328	渡部広明/松岡哲也	腹部外傷 今日の外科学的治療と画像診断に求めるもの	INNERVISION	23	5 26-30	2008	医療科学社
329	HIROAKI WATANABE, TAKASHI MUGURUMA, KOJI IDOGUCHI, and TETUYA MATUOKA	Percutaneous drainage for suppurative pylethrombophlebitis developing in a patient with chronic pancreatitis	Journal of Gastroenterology		4 589-592	2007	
330	松岡哲也	多発外傷患者における長官骨骨折に対する治療指針	救急・集中治療ガイドライン		2 94-95	2008	総合医学社
331	松岡哲也	圧挫症候群の初期治療と予防の指針	救急・集中治療ガイドライン		3 96-98	2008	総合医学社
332	坂下恵治 相良健司 西池成章 藤村一郎	外傷診療における撮像のポイント	INNERVISION	23	1 42-44	2008	医療科学社
333	坂下恵治	救急放射線の視点からみた最新動向	INNERVISION	23	3 36-37	2008	医療科学社
334	松岡哲也	救急医療の現状と問題点一泉州地域における救急医療	医療と検査機器・試薬		7 313-319	2008	ラボ・サービス
335	放射線知識普及実行委員会	みんなのくらしと放射線	大阪公立大学共同出版会				大阪公立大学共同出版会
336	Tatsuya Nishiuchi/Tetsuya Matsuoka	Survival rate and factors associated with 1-month survival of witnessed out-of-hospital cardiac arrest of cardiac origin with ventricular fibrillation and pulseless ventricular tachycardia	Resuscitation	78	307-313	2008	ELSEVIER
337	大須賀章倫、西内辰也、松岡哲也	心停止にて搬入された胸部刺創の一救命例	日本救命医療学会雑誌	22	53-56	2008	
338	Tetauya Matuoka	Cervical Spinal Cord Injury Without Bony Injury: A Multicenter Retrospective Study of Emergency and Critical Care Centers in Japan	J Trauma	65	2 373-379	2008	
339	水島靖明、松岡哲也	損傷臓器別にみた診断と治療 気管・気管支損傷	救急医学	32	8 907-911	2008	日本医書出版協会
340	水島靖明、上野正人、西内辰也、松岡哲也	胸腔ドレナージ排水量よりみた重症胸部外傷の手術適応の再検討	日本救急医学会雑誌	19	7 409-415	2008	
341	渡部広明/松岡哲也	腹部外傷にみられた出血性ショック	レジデント	1	8 32-39	2008	医学出版
342	水島靖明 井戸口孝二 石川和男 松岡哲也 横田順一郎	侵襲的処置の合併症回避のための登録制度一中心静脈穿刺合併症の減少を目指して一	日本臨床救急医学会	11	5 417-420	2008	
343	水島靖明 上野正人 井戸口孝二 石川和男 松岡哲也	出血性ショックを認知する指標としてショックインデックス $\geq 1$ は適切か?	日本外傷学会雑誌	22	4 410-414	2008	
344	坂下恵治・横田順一郎・山本浩之・山本浩司・北川敬康・米田靖	救命救急における画像診断および治療技術の現状と課題	日本放射線技術学会雑誌	64	11 1383-1397	2008	日本放射線技術学会
345	Akinori Osuka, Tetsuya matsuoka, Yasuaki Mizushima, Koji Idoguchi, Kazuo Ishikawa, Tetsuya Nishiuchi	Effectiveness of bile duct drainage for major intrahepatic bile duct damage after perihepatic packing for severe liver injury: A review	Injury Extra	40	1 6-8	2008	ELSEVIER
346	西内 辰也	救急蘇生法の実際	medicina	45	13 236-242	2008	医学書院
347	渡部 広明	第16回ドクターヘリ講習会に参加して一ドクターヘリの真の威力を学ぶ一	日本航空医療学会雑誌	9	3 94-96		へるす出版
348	渡部 広明 大須賀章倫 松岡哲也	門脈ガス血症を併発した非閉塞性腸管虚血症(NOMI)、腸管虚血が腸管壊死か対照的な2例	日本救急医学会雑誌	19	12 1101-1106	2008	
349	Hiroaki Watanabe, Hiroshi Saito, Junji Ueda, B. Mark Evers	Regulation of pancreatic duct cell differentiation by phosphatidylinositol-3 kinase	Biochemical and Biophysical Research Communications	370		2008	ELSEVIER
350	Hiroaki Watanabe, Hiroshi Saito, Haruto Nishimura Junji Ueda, B. Mark Evers	Activation of phosphatidylinositol-3Kinase Regulates Pancreatic Duodenal Homeobox-1 in Duct Cells During Pancreatic Regeneration	Pancreas	36	2 153-159	2008	ORIGINAL ARTICLE
351	福田篤久、石田浩美、久保田芽里、小島義忠	呼気ガスによるCarboxyhemoglobinの測定	におい・かおり環境学雑誌	37	2 89-93	2006	
352	福田篤久	復習のページ: 動脈血と静脈血の違いと使い分け	検査と技術	34	9 882-883	2006	
353	福田篤久	日本臨床検査自動化学会: 第5回POCTセミナー記録 特集: どう考える? 簡易血糖測定一POCTとSMBGの違い一 1. はじめに	医療と検査機器・試薬	29	6 533-534	2006	
354	福田篤久	特集: 第24回緊急検査研究会 1. はじめに	医療と検査機器・試薬	30	6 533	2007	

355	石田浩美、久保田芽里、小島義忠、福田篤久	特集：第24回緊急検査研究会 トライエ-ジで認められた異常反応の検証	医療と検査機器・試薬	30	6 545-549	2007	
356	久保田芽里・楠引健一・福田篤久	特集：災害におけるPOCT 臨床検査技師による支援	医療と検査機器・試薬	31	5 465-467	2008	
357	福田篤久、久保田芽里、石田浩美、桶野芳樹	Laboratory Practice: <緊急検査>救命救急での薬毒物中毒検査—無遠心血清分離真空採血管の利用—	医療と検査機器・試薬	36	12 1354—		
359	福田篤久	輸血検査—無遠心血清真空採血管の利用—	災害医療と臨床検査—診療現場での簡易型迅速検査を中心に—		162	2008	宇宙八木書店
360	桶野芳樹、石田浩美、久保田芽里、福田篤久	特集：第26回緊急検査研究会 一酸化炭素中毒における酸素化能の評価について～急性期の酸素飽和度を中心に～	医療と検査機器・試薬	31	6 626-629	2008	
361	福田篤久	研修会報告（分担執筆）：POCT 最新のPOCT情報と臨床応用および問題点～日臨技・成分化学分析部門（免疫血清）全国研修会報告～VI。救急現場におけるPOCTの現状とPOCコーディネータの役割	医療と検査機器・試薬	31	6 659	2008	
362	Takeshi Hara, Naoto Matoba, Xiangrong Zhou, Shinya Yokoi, Hiroaki Aizawa, Hiroshi Fujita, Keiji Sakashita, Tetsuya Matsuoka	Automated Detection of Extradural and Subdural Hematoma for Contrast-enhanced CT Images in Emergency Medical Care	Proc. of SPIE	6514	651432	2007	
363	問田千晶、松岡哲也	トリクロロエチレン	救急医学	33	4 457-459	2009	へるす出版
364	渡部広明、水島靖明、松岡哲也	救命のための緊急開胸術(救命開胸術) Emergency department thoracotomy (EDT) —重症外傷救命への最後のオプション	日本外傷学会雑誌	23	2	2009	
365	大須賀章倫、井戸口孝二、松岡哲也	外傷性十二指腸完全断裂の1例	小児外科	41	6 571-574	2009	
366	坂下恵治、藤田広志、原武史、西原貞光、小林宏之、石井勉、溝端康光、中島義和	救急CT画像のCADシステムに関する研究班報告書	日本放射線技術学会雑誌	65	7 1002-1007	2009	
367	Akinori Osuka, Tetsuya Matsuoka and Koji Idoguchi	Is This the Worst Outcome of Metabolic Syndrome? Hypophosphatemia and Resulting Cardiac Arrest during the Treatment of Diabetic Ketoacidosis with Hypertriglyceridemia	INTERNAL MEDICINE	48	16 1391-1395	2009	
368	渡部広明 富田直美 井戸口孝二 西内辰也 石川和男 水島靖明 松岡哲也	救急室緊急開胸の時間短縮を目指して—新たな「開胸初期セット」の有用性—	日本外傷学会雑誌	23	3 270-273	2009	
369	水島靖明 松岡哲也	外傷によって生じた出血性ショックに対する初期輸液療法の反応と治療方針に関する研究：多施設共同前向き観察的研究	日外傷会誌	23	4 329-331	2009	
370	松岡哲也	見義不為、無勇也（義を見てせざるは、勇無きなり）					
371	西内辰也、松岡哲也	事後検証により病院前救護活動の質と心肺停止傷病者の転帰は改善したか	日本救急医学会雑誌	20	10 815-22	2009	
372	坂下恵治	救急撮影認定技師制度	INNERVISION	25	1	2010	
373	Yasuaki Mizusima, MD, Masato Ueno, MD, Koji Idoguchi, MD, Kazuo Ishikawa, MD, Tetsuya Matsuoka, MD,	Fever in Trauma Patients: Friend or Foe?	The journal of TRAUMA Injury, Infection, and Critical Care	67	5 1062-1065	2009	
374	中尾彰太 萩原靖 上野正人 山本章貴 水島靖明 石川和男 松岡哲也	下垂体損傷及び内頸動脈の仮性動脈瘤切迫破裂を認めた眼窩牝創の1例	日本救急医学会雑誌	20	11 887-894	2009	
375	大須賀章倫 井戸口孝二 松岡哲也	大阪大学における急性期栄養管理の実践 重症患者における栄養管理のピットフォールとその対応策	救急医学	33	13 1801-1804	2009	へるす出版
376	井戸口孝二	こんなときはエコーの出番	臨床研修プラクティス	6	8 54-60	2009	
377	井戸口孝二		ICU実践ハンドブック			2009	
378	井戸口孝二		はじめての超音波検査			2009	
379	坂下恵治	頭部X線CT画像における脳梗塞の異常所見に関する統計解析	信学技報			2009	
380	Daisuke Kudo, Tatsuya Nishiuchi, Kazuo Ishikawa, Yasuaki Mizushima, Tetsuya Matsuoka	Anterior and Posterior Ischemic Optic Neuropathy Related to Massive Fluid Resuscitation After Blunt Trauma	The journal of TRAUMA Injury, Infection, and Critical Care	68	3 E67-E70	2010	
381	松岡 哲也	JPTECの活動 状況評価	JPTECガイドブック		18-23	2010	へるす出版
382	坂下恵治	放射線画像技術学	放射線画像技術学		17-39		
383	松岡 哲也	外傷診療体制と地域MC協議会	救急・集中治療	22 5-6	555-563	2010	総合医学社
384	坂下恵治	頭部X線CT画像における脳梗塞の異常所見に関する統計解析	信学技法			2010	
385	坂下恵治	頭部X線CT画像における早期虚血サインの自動解析法	テンプレート			2010	
386	西内辰也 松岡哲也 井戸口孝二 大須賀章倫	高速道路上での多重衝突事故の教訓から学ぶ災害現場での医療・消防機関の連携に関する課題	日本臨床救急医学会雑誌	13	3 389-393	2010	
387	中尾彰太 渡部広明 松岡哲也	酸化マグネシウム長期内服による重症高マグネシウム血症の3例	日本救急医学会雑誌	21	7 365-371	2010	
388	西村奈穂 六車崇	意識障害の特殊治療 外傷性脳損傷、急性脳炎・脳症	救急医学	34	9 1085-1088	2010	へるす出版
389	Tetsuya Matsuoka, Yasuaki Mizushima	Hemodynamic Reactions in Patients With Hemorrhagic Shock From Blunt Trauma After Initial Fluid Therapy	The journal of TRAUMA Injury, Infection, and Critical Care	69	5 1161-1168	2010	
390	松岡哲也	病院診療の質向上を考えるセミナーシンポジウム 救急隊搬送患者のトリアージと病院選択	日本病院会雑誌	57	10 1142-1178	2010	
391	渡部広明 井戸口孝二 西内辰也 石川和男 水島靖明 松岡哲也	ダメージコントロール手術における一時的閉腹法としてのvacuum packing closure (VPC) 法—VPC法は他の一時的閉腹法より優れているか？—	日本救急医学会雑誌	21	10 835-842	2010	
392	渡部広明 山本博崇 高橋善明 中尾彰太 水島靖明 松岡哲也	急性腹症手術における一時的閉腹法としてのVacuum packing closure (VPC) 法	日本腹部救急医学会雑誌	30	7 905-913	2010	

393	渡部広明	肝損傷に対するガーゼパッキング術 ダメージコントロール サージェリーとしてのperihepatic packing	救急医学	35	3 315-321	2011	へるす出版
394	問田千晶 六車 崇 松岡哲也	小児初期診療における薬剤投与量および器材の適正選択に対する 小児初期診療セットの有用性	日本救急医学会雑誌	22	2 46-55	2011	
395	松岡哲也 渡部広明 上野正人	日本外傷データバンクにおけるデータ欠損の特徴	日救急医学会誌	22	147-55	2011	
396	Tetsuya Matsuoka, Kazuo Ishikawa	Impact of the Version of the Abbreviated Injury Scale on Injury Severity Characterization and Quality Assessment of Trauma Care	The journal of TRAUMA Injury, Infection, and Critical Care	71	1 56-62	2011	
397	松岡哲也	救命救急センターにおける小児診療体制整備の効果—成人同等 の外傷診療を發揮できるのか？—	日本救急医学会雑誌	22	5 205-212	2011	
398	問田千晶 六車 崇 松岡哲也	頭蓋内出血を合併した胆道拡張症における救命救急センターと 専門病院の連携	日本小児学会雑誌	115	7 1270-1273	2011	
399	中尾彰太 石川和男 井戸口孝二 水島靖明 松岡哲也	遅発性仮性動脈瘤破裂を来した鈍的肝損傷の1例	日本外傷学会雑誌	25	3 361-365	2011	
400	渡部 広明	開腹と閉腹	救急医学	35	8 931-936	2011	へるす出版
401	日下部賢治、小野秀文、松岡哲也	多発外傷に合併した四肢外傷の治療-全身管理と局所管理の視点 から-	日本外傷学会雑誌	25	2 120-127	2011	
402	渡部広明、山本博崇、中尾彰太、石川和男、水島靖明、松岡哲 也	重症肝損傷に対する外科手術的治療戦略とその戦術	Japanese Journal of Acute Care Surgery		47-52	2011	
403	中尾彰太、渡部広明、高橋善明、山本博崇、松岡哲也	重症NOMI (non-occlusive mesenteric ischemia) に対する積極的 な開腹手術を中心とした治療戦略の有用性	日本腹部救急医学会雑誌	31	7 1021-1027	2011	
404	布施貴司、中尾彰太、松岡哲也	特殊病態での凝固・線溶異常 外傷	救急医学	35	13 1834-1838	2011	へるす出版
405	水島靖明、上田泰久、中尾彰太、渡部広明、松岡哲也	挿管困難例に対して輪状甲状靭帯穿刺および経気管ジェット換 気を行い、緊張性気腹をきたした一例	日集中医誌	19	87~88	2012	
406	Yasuaki Mizushima, Masato Ueno, Hiroaki Watanabe, Kazuo Ishikawa, Tetsuya Matsuoka	Discrepancy Between Heart Rate and Makers of Hypoperfusion Is a Predictor of Mortality in Trauma Patients	The journal of TRAUMA Injury, Infection, and Critical Care	71	4 789-792	2011	
407	水島靖明	皮膚・粘膜消毒法	今日の救急 治療指針				医学書院
408	松岡哲也	多発外傷患者における長管骨骨折に対する治療指針	救急・集中治療 最新ガイドライン				総合医学社
409	松岡哲也	圧挫症候群の初期治療と予防の指針	救急・集中治療 最新ガイドライン				総合医学社
410	水島靖明	マネジメントの視点から災害対策を考える Hospital MIMMS	病院	71			医学書院
411	水島靖明 上田泰久 中尾彰太 渡部広明 松岡哲也	挿管困難例に対して輪状甲状靭帯穿刺および経気管ジェット換 気を行い、緊張性気腹をきたした一例	日集中医誌	19	1 87-88	2012	
412	渡部広明 水島靖明 松岡哲也	重症肝損傷におけるperihepatic packingの有用性-重症肝損傷 はperihepatic packingにより救命可能である-	日本外傷学会雑誌	26	1 40-46	2012	
413	渡部広明 松岡哲也	重症腹膜炎および難治性創傷に対するvacuum packing closure (VPC) とnegative pressure wound therapy (NPWT) の実際	日本外科感染症学会雑誌	9	1 29-35	2012	
414	坂下恵治	診療放射線技師の業務と視点	月刊薬事	54	3 75-78	2012	
415	山本博崇 渡部広明 松岡哲也	胸部下行大動脈遮断・開胸心マッサージ	救急・集中治療	23	9・10 1549-1556	2011	総合医学社
416	坂下恵治 松岡哲也	救命救急部門で医用画像システムのパフォーマンスを最大活用 するための考察	新医療		64-67	2012	
417	坂下恵治	診療放射線技師の業務と視点	薬事	54	3 75-78	2012	
418	渡部広明 井戸口孝二 水島靖明 松岡哲也	若手外傷外科医師を養成するための外傷外科手術トレーニング システム—外傷外科手術治療戦略コース (Surgical Strategy and Treatment for Trauma:SSITコース)	日本腹部救急医学会雑誌	32	5 919-926	2012	